

この紙のゴール: 型を借りて、自分の一日のひとコマを英語で言える・書ける

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Getting up at six, I looked out the window and saw a clear blue sky.
6時に起きて、窓の外を見ると青空が広がっていた。
Walking to school, I listened to my favorite song and felt ready for the day.
学校へ歩きながら好きな曲を聞いて、今日はいけるという気持ちになった。

型で書く 型で書く—_____だけ自分のことばに 思考・判断・表現

後半のことば例: ate breakfast / checked my phone / saw my friends / took a shower / opened the fridge. 前半は型のまま使ってよい (起きた時刻だけ自分のものに)。

(1) Getting up at _____, I _____. 起きて→した

(2) Walking to school, I _____. 歩きながら→した

(3) Getting home, I _____. 家に着いて→した

ペアで話す ペアで話す—1問ずつ交代

ここでは形を体に入れるために口に出す (ふだんの会話では接続詞で言ってもかまわない)。答え方の型: _____ing ..., I _____. 1文でよい。むしろできれば、上で書いた文をそのまま読んでよい。

(1) What did you do this morning?

今朝は何をした?

(2) What did you do when you got home yesterday?

きのう家に着いて何をした?

あいづち・返しの型: (Nice.) (Me too.) (Really?)

分詞構文で場面を描く (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「わたしの一日」 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけでパラグラフになる。最後に、ペアの相手の答えを1文で紹介: Walking to school, he / she _____. (主語を he / she にして書くのがポイント)

評価 先生はここを見ます (加点式)

型のとおり3文書けている (-ing の主語が I になっている)	+5点
____に自分のことが入っている	+3点
ペアの相手の紹介が1文ある (he / she の文)	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ